

京都中部総合医療センター経営強化プラン（案）に関するパブリックコメント（意見募集）の実施結果について

No.	ご意見等の要旨	ご意見等に対する考え方（回答）
1	<p>(1) 地域医療構想等を踏まえた当院の果たすべき役割・機能（17ページ）</p> <p>地域救命救急センターの指定を受けることで、どのようなメリットが得られるのか（貴院・患者・地域住民各々の立場から）分かりやすく記述してほしい。</p>	<p>地域救命救急センターは、初期救急医療機関、二次救急医療機関及び救急患者の搬送機関との円滑な連携体制のもとに、重篤な救急患者への医療を確保することを目的に設置される地域の救急医療体制を完結する機能を有する三次救急医療機関であります。本プランでは、将来のことであり具体的に記載することはしていません。</p>
2	<p>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能（17ページ）</p> <p>南丹市国民健康保険美山林健センター診療所を中心に本格的に取り組みが始まろうとしている「美山地域包括ケアシステム」づくりには是非とも貴院にも積極的に関与していただきたい。</p>	<p>本プランに記載しています役割・機能を担っていきたいと考えています。</p>
3	<p>(3) 機能分化・連携強化（18ページ）</p> <p>医療資源を地域全体で効率的に活用していくためには、管内公立病院・診療所（亀岡市立病院・国保京丹波町病院・国保京丹波町病院和知診療所・南丹市国民健康保険南丹みやま診療所）への医師派遣の継続とともに看護師・薬剤師・理学療法士などの医療従事者、医療技術職の人事交流・人事派遣も積極的に実施してほしい。また管内の病院・診療所間の人事交流にとどまらず、京都府立医科大学附属病院の看護師などの医療従事者・医療技術職と貴院の医療従事者・医療技術職との人事交流の実施で、病院間連携も深化してくると考えられる。（綾部市立病院では看護師などの人事交流が京都府立医科大学附属病院と実施されていた。）</p>	<p>地域の公的医療機関や京都府立医科大学との人的交流も含めた連携強化に引き続き努めていきたいと考えています。</p>
4	<p>公立病院連携の概要（イメージ図19ページ）</p> <p>新棟整備後（令和8年度～）なぜ、急性期病床が301床から251床にまで大幅削減されるのか解説を入れてもらいたい。</p>	<p>急性期病床については、今後の病床利用率の状況や南丹医療圏における医療需給状況を踏まえて、ある程度削減する方向ではありますが、現時点では確定しておりません。引き続き慎重に議論・検討していく考えです。（イメージ図を一部修正します。）</p>

5	<p>2 医師・看護師等の確保と働き方改革 (22ページ)</p> <p>・兵庫県豊岡市では、「働き方改革」ではなく、「ワークイノベーション」と称し、取り組みを進めている。その理由はジェンダーとジェネレーション（世代）を超えて、多様な人がそれぞれのありたい姿に向かって生き生きと働くためには、イノベーションが必要として「ワークイノベーション戦略」と「ジェンダーギャップ解消戦略」が策定され、実際に様々な活動が展開され成果が出ている。是非このような先進事例からも大いに参考にさせていただきたい。</p>	<p>貴重なご意見として今後の参考とさせていただきます。</p>
6	<p>・離島・へき地医療に貢献できる医師の育成・支援を実施しているゲネプロ (<a href="https://genepro.org">https://genepro.org</a>) という団体がある。令和6年4月からも長崎県：上五島病院、高知県：大井田病院、島根県：益田地域医療センター医師会病院、千葉県：匝瑳市民病院、岐阜県：恵那市立恵那市民病院などで医師の受け入れを実施されています。食欲にあらゆる資源を投入して、何が何でも南丹医療圏の地域医療を守り育て発展させていくという強い姿勢を示してもらいたい。</p>	<p>「地域の最終拠点病院としての意識を持ち、患者さん中心の良質な医療を行い、地域に愛され信頼される病院を目指す。」という当院の病院理念を自覚して、職員一丸となって、地域の安全・安心を守り続ける病院づくりに努めています。</p>
7	<p>3 経営形態の見直し (24ページ)</p> <p>独立行政法人への移行も今後検討すべき課題であることは一定理解できる。京都市立病院の事例なども踏まえ、メリットとデメリットについて徹底的な情報公開を行い議論を進めてほしい。</p>	<p>本プラン21ページの住民理解のための取組に記載しておりますとおり、当院の運営等に関する情報については、広報媒体を活用して地域住民に情報発信していく考えです。</p>
8	<p>④ 新棟整備におけるデジタル化 (30ページ)</p> <p>院内Wi-Fiは、貴院規模の施設なら今や必須の公共インフラである。新棟整備を待たず可能な限り現病棟の一部であっても実現できるよう早急に取り組みを進めてほしい。</p>	<p>院内Wi-Fiについては、新棟整備に向けて、導入を検討していく考えです。</p>
9	<p>新棟整備が完了しても、今後通院困難な交通弱者の増加が予測される。貴院の構成自治体からの提案を待っているだけでなく、貴院自身がイニシアチブを取り構成自治体への働きかけを行うなど、主導的な役割を果たしてほしい。なぜならば通院患者の移動手段の確保（整備）は、貴院の経営基盤を支える根幹と考えるからである。是非とも貴院の社会的使命との思いで取り組んでいただきたい。</p>	<p>高齢者をはじめ自分で外出することが困難な方々にも使いやすく安全な移動手段を確保することは、高齢化の進展に伴い重要な地域課題であると認識しています。構成自治体の交通政策・福祉政策の取り組みにできる限り連携・協力していきたいと考えています。</p>